

■ 基準価額・純資産総額の設定来推移



※1 分配金再投資ベースは分配金(課税前)を再投資したものと計算しており、分配金があった場合は実際の基準価額とは異なります。

また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに値は異なります。

※2 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

■ 設定来の運用実績

	基準価額 (分配金再投資)	
	(円)	騰落率(%)
当月末	12,154	-
過去1ヵ月	11,643	4.39
過去3ヵ月	10,877	11.74
過去6ヵ月	10,171	19.50
過去1年	10,037	21.09
過去3年	-	-
設定日来	10,000	21.54

※1 基準価額騰落率(分配金再投資)は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金(課税前)を再投資した場合の騰落率です。また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに騰落率は異なります。

※2 基準価額騰落率は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

■ 運用資産構成比率

ファンド	比率(%)
外国株式	95.7
現物	95.7
先物	-
短期資産等	4.3
合計	100.0

※1 比率はベビーファンドの実質組入比率(純資産総額比)です。

※2 短期資産等には、コール、CD、CP、現先、未収金、未払金等が含まれます。

■ 分配実績

決算年月日	分配金 (課税前) (円)
2018/06/20	50
-	-
-	-
-	-
-	-
設定来合計	50

※ 1万口当たりの実績です。

■ 基準価額と純資産総額

	当月末	前月末	前月末比
基準価額 (円)	12,098	11,589	+509
純資産総額 (百万円)	646	451	+195

※ 月中に分配があった場合の基準日の基準価額は、分配金込みです。

	基準価額 (円)	日付
設定来高値	12,150	2018年9月21日
設定来安値	9,504	2017年8月21日

※1 基準価額は信託報酬等控除後で算出されます。

※2 設定来高値及び設定来安値は分配落ち後の基準価額で、該当した日付が複数日ある場合には、その初日を表示しております。

■ 運用概況

当月末の基準価額は、12,098円(前月比+509円)となりました。
また、税引き前分配金を再投資した場合の月間騰落率は+4.39%となりました。

<運用コメント>

■ 9月の市場動向と運用状況

当月のパフォーマンス



※ 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

※当ファンドの過去のマンスリーレポート・運用コメントについては、委託会社ホームページにてご確認ください。

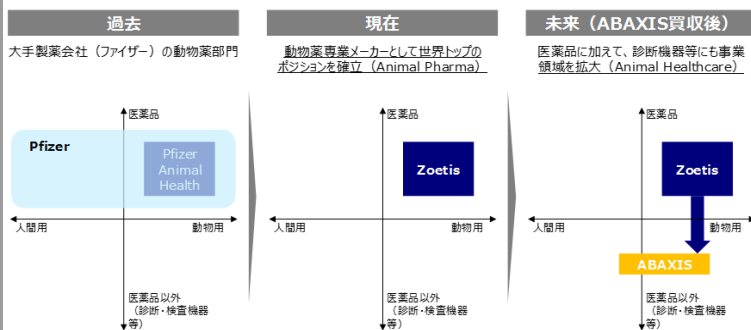
(<https://www.ja-asset.co.jp/fund/140829/index>)

レポート対象期間(8/30~9/27)の米国株式指数(米ドル建)は上昇となりました。上旬はトランプ大統領が中国からの輸入品に追加関税を賦課する意向を表明したことを受けて、貿易摩擦懸念が強まり下落しました。中旬以降は、実際に米国政府が発表した中国からの輸入品に対する追加関税の税率が想定よりも低かったこと、また中国が貿易相手国からの輸入品にかかる平均税率を引き下げているとの報道が出る、楽観的な見方が広がり上昇となりました。かかる環境下、当ファンドの円換算後リターンは+4.4%(為替ドル高要因+2.2%、株価要因+2.2%)となりました。

本ファンドの助言者である農林中金バリューステツメントでは、投資先のモニタリングや新規投資候補先の調査のため、年間6回程度の現地訪問を行っており、毎年の訪問社数は80社程度にのぼります。直近では8月上旬に米国東海岸地域に出張し、既往投資先2社を含む計10社と面談を行いました。そのうちの1社(既往投資先)であるZoetis社の直近の動向と、それを踏まえた当社の見解をご紹介します。Zoetisは2017年10月にご紹介したように、動物用医薬品の世界トップメーカーです。ペットオーナーにとっては「家族の命」を、畜産業者にとっては製品の価値を守る製品を提供するという付加価値の高い事業を展開し、独特の直販体制で確固たる販路を確保することで強い競争優位を持つ(世界シェアは約2割)、「構造的に強靱な企業[®]」であるといえます。そんなZoetisが、2018年5月にABAXIS社の買収(買収金額は約19億ドル)を発表しました。ABAXIS社は動物向けの血液検査機器に強みを持つメーカーで、北米では約3割の市場シェアを持つ企業です。Zoetisはこれまで動物用医薬品専業メーカーであったため、診断機器事業の買収は新しい事業領域への参入ということになります。当社としても、この買収が投資仮説に影響がないか確認すべく、買収を踏まえた事業の方向性に関して直接議論をして参りました。

Zoetisとの議論を経て、Zoetisは動物用医薬品(Animal Pharmaceutical)を中核の事業としながら、今後は医薬品以外も含めた動物のケア全体(Animal Healthcare)を事業領域としていく、ということが確認できました。Zoetisは下記図1の通り、もともとは大手製薬企業Pfizer社の動物薬部門として存在していたのが、独立を経て現在の動物用医薬品専業メーカーとしての立ち位置を確固たるものとした、というように、成り立ちから成長に向けて事業領域を変化させてきた企業であり、今回の買収による事業拡大もその一貫であることがわかります。

【図1: Zoetisの事業領域の変化】



少し具体的にこの事業領域拡大の方向性についてみてみましょう。下記図2の通り、予防→診断→検査→治療というケアの流れ(ケアチェーン)の中で、これまでZoetisは予防と治療の部分にそれぞれ医薬品事業を展開していましたが、診断・検査の部分には事業を持っておりませんでした。今回のABAXIS社買収は、診断・検査の領域も含めたケアチェーンの全ての領域でソリューションを提供することを可能にしたといえます。

【図2: ケアチェーンとZoetisの事業領域】



このように、①更なる成長のための事業領域拡大、②ケアチェーンの補完によるソリューションの拡充、という2つの方向性がABAXISの買収の背後にあることがわかりました。さらに、これまで北米中心だったABAXISの事業を、Zoetisが既に世界中に持っている販路を通じて拡大できることも買収によるシナジー(相乗効果)であるといえるでしょう。

最後に改めて投資仮説への影響を考えてみると、診断機器事業への参入は顧客へのソリューションを拡充することから事業の付加価値を高め、予防～治療まで一貫して提供可能な唯一の企業というポジションはZoetisの競争優位をさらに強めると考えられることから、当社としては今回の買収を高く評価しています。

今回のZoetisの事例のように、既往投資先に関しても定期的に議論の機会を持つことで、当初考えていた投資仮説に影響がないか確認し、中長期的に顧客資産の増大に資する投資ポートフォリオの維持に努めて参ります。

※運用担当者のコメントは9月末時点のものです。また、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

■ 最終ページの「主なリスクと手数料」および「留意事項」を必ずお読み下さい。

<マザーファンドの運用状況>

■ 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	業種	組入比率(%)
1	VISA INC-CLASS A SHARES	金融	6.6
2	BECTON DICKINSON & CO	ヘルスケア	6.4
3	THE WALT DISNEY CO.	コミュニケーション・サービス	6.1
4	COLGATE-PALMOLIVE CO	生活必需品	6.0
5	UNITED TECHNOLOGIES CORP	資本財・サービス	5.5
6	3M CO	資本財・サービス	5.3
7	ECOLAB INC	素材	3.8
8	ROLLINS INC	資本財・サービス	3.8
9	VERISK ANALYTICS INC	資本財・サービス	3.8
10	ZOETIS INC	ヘルスケア	3.7

※ 比率は外国株式現物対比です。

組入銘柄総数: 26銘柄

■ 業種別組入比率

業種	ファンド(%)
資本財・サービス	26.4
生活必需品	20.1
ヘルスケア	15.0
素材	12.9
一般消費財・サービス	6.8
金融	6.6
コミュニケーション・サービス	6.1
情報技術	6.0
合計	100.0

※ 比率は外国株式現物対比です。

商品の特色

- 圧倒的な競争力を有する企業への長期厳選投資により投資信託財産の中長期的成長を目指すアクティブファンドです。
- 米国の上場株式を主要投資対象とします。
- 徹底したファンダメンタル・ボトムアップアプローチにより、付加価値の高い産業、圧倒的な競合優位性、長期的な潮流の3つの条件を満たす、持続可能なキャッシュ・フロー創出能力を有する「構造的に強靱な企業[®]」を見出し、当該企業の本源的価格を算出して妥当なバリュエーションレベルで長期厳選投資を行います。
- 組入外貨建資産については、原則として為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行いません。
- 農林中金バリューインベストメンツ株式会社(NVIC)より投資助言を受け、ポートフォリオを構築します。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。

■ お申込みメモ

購入単位	＜通常の申込＞ 販売会社が定める単位 ＜確定拠出年金制度に基づく申込＞ 1円以上1円単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	販売会社の指定する日までにお支払いください。
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目から支払いを行います。
申込締切時間	原則として午後3時までとなります。（ただし、受付時間は販売会社により異なる場合がありますので、詳細につきましては販売会社までお問い合わせください。）
申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行の休業日には、購入・換金の申込受付を行いません。（詳しくは、販売会社または委託会社にお問い合わせください。）
換金制限	信託財産の資産管理を円滑に行うために大口の換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止等により購入・換金の申込受付が中止または取消しとなることがあります。
信託期間	無期限（設定日：平成29年7月5日）
繰上償還	受益権の総口数が5億口を下回った場合などには、繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年6月20日（休業日の場合は翌営業日。ただし、第1期は平成30年6月20日。）
収益分配	毎年6月の決算時に分配を行います。販売会社との契約によっては、税引き後、無手数料で再投資が可能です。
信託金の限度額	1兆円を限度とします。
公告	委託会社が投資者（受益者）に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎年6月の決算時及び償還後に交付運用報告書を作成し、販売会社より知れている投資者（受益者）に対して交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。なお、税制が改正された場合等には変更される場合があります。

金融商品取引所や外国金融商品市場における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、ご購入申込みもしくはご換金申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けたご購入申込みもしくはご換金申込みを取り消す場合があります。

■ 委託会社、その他の関係法人

- 委託会社：農林中金全共連アセットマネジメント株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号 一般社団法人 投資信託協会会員／一般社団法人 日本投資顧問業協会会員）
信託財産の運用指図、目論見書および運用報告書の作成等を行います。
- 受託会社：農中信託銀行株式会社
追加信託に係る振替機関への通知等、信託財産の保管・管理・計算等を行います。
- 販売会社：以下をご覧ください。
ファンドの募集の取扱い・販売、目論見書・運用報告書の交付、一部解約の請求の受付、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等を行います。

販売会社等につきましては、以下の照会先までお問い合わせください。

■ 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

ホームページ：http://www.ja-asset.co.jp/

フリーダイヤル：0120-439-244（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

お申込、投資信託説明書（交付目論見書）のご提供は

主なリスクと手数料

下記の事項は、この投資信託（以下、「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申し込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

■ 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的に株式など値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資者（受益者）の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの運用による損益は、すべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。

投資信託は、預貯金と異なります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」「為替変動リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

■ 当ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	<p><通常の申込> 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が個別に定める手数料率を乗じた額です。 ご購入時の手数料率の上限は2.16%（税抜2.0%）です。</p> <p><確定拠出年金制度に基づく申込> 無手数料</p>
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用（信託報酬）	毎日、純資産総額に年0.972%（税抜0.9%）を乗じた額を計上します。毎計算期間の最初の6か月終了日及び毎計算期間末または信託終了のとき信託財産中から支払われます。
その他の費用・手数料	<p>監査費用は、毎日、純資産総額に年0.00324%（税抜0.003%）を乗じた額を計上します。 毎計算期間末または信託終了のとき信託財産中から支払われます。</p> <p>有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等は、その都度信託財産中から支払われます。</p> <p>※運用状況により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。</p>

※ファンドの費用の合計額は、投資者の皆様がファンドを保有する期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ご購入の際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

留意事項

- 当資料は、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社（以下、「当社」といいます。）が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料は当社が信頼できると判断したデータ等により作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。市場環境等の見直しにつきましても、その確実性を保証するものではありません。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。
- 当ファンドは、株式などの値動きの生じる証券（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は日々変動します。したがって、元金および収益分配が保証されるものではなく、投資元本を割り込むことがあります。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくこととなります。
- 投資信託は預貯金や保険商品とは異なり、預金（貯金）保険機構、保険契約者保護機構の保護対象ではありません。投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。
- ご購入の際は、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので、必ずお受取りいただき、詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断いただきますようお願いいたします。